
『共有結晶 Vol.3』誤植のお詫びと訂正

この度は『共有結晶 Vol.3』をご購入いただきまして誠にありがとうございました。

93頁より掲載されているそらしというさんの作品「宿世拙し彼らを祝せ」について、第五連の記載が欠落しておりました。

作品本来の全容は本紙の通りとなります。

ご購入いただきましたみなさま及び、作者であるそらしというさんにご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。


また、このようなことが再び発生しないよう編集部一同努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

BL 短歌合同誌実行委員会

website : <http://bltanka.jimdo.com/>

twitter : @bltanka

E-mail : bltanka.magazine@gmail.com



“憎しみのための憎しみ前髪からしたたるぬるい珈琲のしみ”

宿世拙し彼らを祝せ

そらしという

彼は地表／前髪を繕^よる茶色の珈琲

煮詰めた言葉を

無抵抗に浴びている

憎悪はひと肌^よに落ちついて

まだ、人間をやめていないらしい

彼は天空／張りつめた水色の双眸

細く吸った空気に溶けている酸味

苦味は重力にしたがつて、
したたつて、縁どられた輪郭線
ゆがめたい

窮めた平行と均衡が
崩れるとき

はるかで星が

星にぶつかったような

静けさが、生まれる

耳朶をぬるく包む、褐色のため息

綺麗なところなどない

身体をさらに汚し、

ひずめる、慈しみのような憎しみが

水色の双眸を不自然に輝かせる



平らな地面ほど面白くないものはない
くりかえし穿ち、開拓を進めて

出てくる表情をもっと豊かにしたい

腫れていびつな頬が孕む微熱

呼吸する土壌ほど愛おしいものはない

はるかで星が

星にぶつかる口の

慈しみで

憎しみを打ち消す日の

軌道に

対話のための

コーヒーカップを乗せる

